

幼児教育学科

1年

科目名：社会福祉				担当教員氏名：宮嶋 潔		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択必修/選択	備考	
2	1年次 後期	専門科目	講義	必修	保育士資格指定科目(必修) 社会福祉主事任用資格	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：			社会福祉士としての実務経験をもとに社会福祉の実際を事例を交えて授業する。			
授業科目の学習教育目標の概要：			キーワード			
社会福祉の基礎的概念や日本および世界の福祉の歴史、福祉に関する法律の変遷などを学ぶことを通して、今後の福祉の方向性について考える。また、現代の福祉の現状について学び、現代社会の福祉課題について理解する。			社会福祉の概念、社会保障、社会福祉援助技術、地域福祉			
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 6. 9. 10		
A 知識・理解力		社会福祉の概念、歴史、制度、技術について理解することができる。				
B 専門的技術		社会福祉現場をよりよく理解することができる。				
C 論理的思考力		社会福祉が直面している課題について深く考察することができる。				
D 問題解決力		習得した知識などを活用して、現場の問題や課題を解決する試みができる。				
G 倫理観		社会福祉専門職として求められる価値と倫理に従って行動できる。				
成績評価の基準と方法： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 50 %	レポート： 20 %	発表： %	実技試験： %	その他： 30 %		
特記事項： 「その他：30%」では、授業態度について評価する。 本科目では、アクティブ・ラーニングの一環として、グループワークを活用し、学生相互の理解を深める。						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：別に定めた日時に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック：実施するテストに評価を付けて学生に返却する。						
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)			
			学習内容			学習に必要な時間(分)
①社会福祉の基本的考え方			予習：テキストを読む 復習：①の復習		【予習】30分 【復習】30分	
②社会福祉の概念			予習：テキストを読む 復習：②の復習		【予習】30分 【復習】30分	
③社会福祉の歴史(1) 海外			予習：テキストを読む 復習：③の復習		【予習】30分 【復習】30分	
④社会福祉の歴史(2) 日本			予習：テキストを読む 復習：④の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑤社会福祉の法(1) 社会保障・公的扶助			予習：テキストを読む 復習：⑤の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑥社会福祉の法(2) 社会福祉法			予習：テキストを読む 復習：⑥の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑦社会福祉の法(3) 社会保障の関連制度			予習：テキストを読む 復習：⑦の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑧社会福祉の機関と施設 中間振り返り			予習：①～⑦の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑨社会福祉援助の意味			予習：テキストを読む 復習：⑨の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑩社会福祉の援助方法			予習：テキストを読む 復習：⑩の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑪社会福祉援助の専門性とは			予習：テキストを読む 復習：⑪の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑫地域福祉の概念			予習：テキストを読む 復習：⑫の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑬利用者の権利擁護			予習：テキストを読む 復習：⑬の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑭社会福祉の担い手			予習：テキストを読む 復習：⑭の復習		【予習】30分 【復習】30分	
⑮これからの社会福祉の動向 まとめ			予習：⑧～⑭の復習		【予習】30分 【復習】30分	
使用テキスト： 新保育士養成講座第4巻「社会福祉」全国社会福祉協議会 ISBN978-4-7935-1090-8				その他参考文献など：		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 日頃から新聞・テレビなどを通して、社会福祉関連のニュースに関心を持ってください。						